

科目名		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習	
科目責任者	堀 龍 介	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)	
担当者	若 杉 哲 郎	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 准教授)	
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>頭頸部領域の諸器官(聴器、平衡器、鼻副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、耳下腺、唾液腺、顔面神経)の機能や病態を解明するための臨床的および実験的手法について学び、その意義と問題点を理解し、その手技を実習を通して習得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 聴器の構造と機能を解明するための臨床的・実験的手法について説明できる。 2) 聴覚障害を起こす疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 3) 平衡器の構造と機能を解明するための臨床的・実験的手法について説明できる。 4) 平衡障害を起こす疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 5) 鼻・副鼻腔の構造と機能を解明するための臨床的・実験的手法について説明できる。 6) 鼻・副鼻腔疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 7) 口腔・咽頭の構造と機能を解明するための臨床的・実験的手法について説明できる。 8) 口腔・咽頭疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 9) 喉頭の構造と機能を解明するための臨床的・実験的手法について説明できる。 10) 喉頭疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 11) 唾液腺・甲状腺の構造と機能を解明するための臨床的・実験的手法について説明できる。 12) 唾液腺・甲状腺疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 13) 頭頸部腫瘍の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 14) 顔面神経疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		